

水戸市社会福祉協議会広報紙

みんなのしあわせ

主な内容

- 赤い羽根共同募金 2~3P
- ご芳志ありがとうございました 7P
- 第56回 水戸市社会福祉大会 4~5P
- ボランティアセンターだより 8P
- みと社協NEWS 6P

赤い羽根共同募金

募金運動期間：令和7年10月1日～令和8年3月31日

皆さまのご支援ご協力に心より感謝しております



お預かりした共同募金は、水戸市の地域福祉活動のために使われます。

「じぶんの町をよくするしくみ」

赤い羽根共同募金



募金運動期間：

令和7年10月1日～令和8年3月31日

【問合せ先】茨城県共同募金会水戸市共同募金委員会

(事務局：地域福祉課地域福祉推進係 ☎029-309-5001)

今年度も、共同募金へのご支援ご協力をいただき心より感謝申し上げます。共同募金にご協力いただいている様子や皆さまの声をお伝えし、共同募金による「じぶんの町をよくするしくみ」についてを知っていただけたらありがとうございます。

募金をする



街頭募金へのご協力ありがとうございました

全国一斉に始まります



共同募金セレモニーから募金活動が始まります

お預かりした募金は？

全額を

茨城県共同募金会

に預けます

約7割
水戸市の
地域福祉活動

約3割
茨城県の
地域福祉活動

この募金は、高齢者や、障がい者、子どもたち、生活に困っている方などに向けた福祉活動のほか、災害時の支援など、地域福祉のために使われています。

この募金は、各世帯や法人、団体、篤志家、学校等の皆さまからの募金のほか、各地区で行われるイベント時などの募金をお預かりしております。

茨城県共同募金会水戸市共同募金委員会では、初日のセレモニー開催後、募金ボランティアの皆さまのご協力のもと、水戸駅や赤塚駅などで街頭募金活動を行いました。

10月1日、今年度も全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。

今年度より新しく始まった募金方法

UMOU PROJECT

～羽毛製品が誰かの笑顔に変わります～

ご家庭に眠っている羽毛製品のご寄付が地域福祉活動に役立てられます。

※ダウント率50%以上の羽毛製品が対象です。

羽毛布団：1kg以上は1枚につき400円の寄付 1kg未満は100円の寄付

ダウントジャケット：1枚につき20円の寄付

三重県共同募金会が「UMOU PROJECT」として開始し、全国的に取り組みが広がっています。

今年度、この取り組みに茨城県共同募金会内の9市町村委員会が参加することとなりました。

回収された羽毛製品は、リサイクルされ新たな羽毛製品に生まれ変わります。ご家庭の羽毛製品が整理でき、環境にも優しく、社会貢献や地域福祉活動にもつながります。ぜひ取り組んでみませんか。

PayPay募金

～キャッシュレス派の方におすすめ～



今年度より、PayPayによる募金ができるようになりました。
キャッシュレス派の方、ぜひこの機会にPayPay募金はいかがでしょうか。

さまざまな募金方法

赤い羽根自動販売機

～飲料購入で募金ができます～

飲料購入時、一定額(または一定割合)が赤い羽根共同募金に寄付される自動販売機です。水戸市には、39台設置されています。(8月末現在)



※自動販売機を設置希望の方募集集中です。
お問い合わせお待ちしております。



PayPay募金は
こちらから



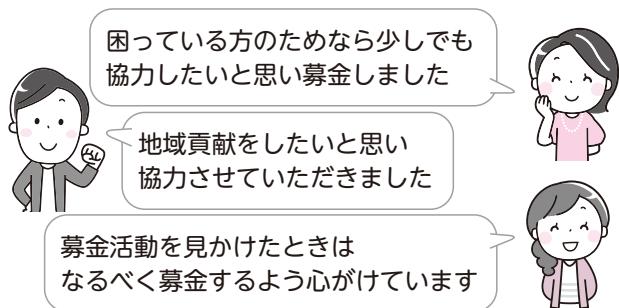
社協は、「だれもが元気で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めています。



共同募金 インタビュー

共同募金に関わる皆さんに
インタビューを行い、共同募金の
良いところを伺いました。

募金に協力いただいた皆さんからひとこと



募金活動を見かけたときは
なるべく募金するよう心がけています

募金ボランティアの 皆さんにお話を伺いました



国田地区自治実践会 小田倉会長より



千波女性会 高久会長より

千波地区では、数年前まで
市民運動会の時に、みんなで
募金箱を持って歩きました。
運動会にお金を持ってくる人
は少ない様子で、11月に市民
センターで行われる「ふれあ
いまつり」での募金活動に切
替えたところこれが成功し
て、今までより募金が集まる
ようになりました。

募金ボランティアをしてい
て、印象に残っているのは、
震災があつたばかりだった時
に、その時はお世話になりました。
ういふた経験をした方が、募
金しようと思い、次の方につ
ながっていくのではないかと
感じました。

街頭募金では、皆さんに声
をかけながら、募金を呼びか
けるのが重要なことだと思い
ます。今はインターネットで
メッセージを送る方法もあります
が、対面で声をかけるこ
とが大切だと思い活動をして
います。

地元の地域活動において

は、歳末たすけあい事業の助
成金などを受けて活動を進め
ています。共同募金において
は、助成を受けるだけでなく、
各世帯での募金が少なくなっ
ているので、今回のようにみ
んなで募金を預かることが大
切だと思います。そして、身

木戸ホーリーホック 小島社長より



茨城ロボッツ 川崎社長より

ロボッツは、地域とともに成長
していくなければならない存在だと
と考えています。私たちの試合に
も、赤い羽根共同募金の皆さんに
来ていただきました。一緒に活動
に取り組む中で広がりやつながり
が生まれていると思っています。
できるだけ、たくさんの地域の
皆さんにご支援をいただきなが
ら、こどもたちに試合に来てもら
い観戦を通じて、前を向いて生き
られるような取り組みを行い、こ
れからもスポーツを通じて社会貢
献を続けて参ります。

プロスポーツチームの 皆さんにお話を伺いました



第56回水戸市社会福祉大会



10月21日(火)、水戸市民会館において、水戸市内で福祉の向上に功績のあった方々を顕彰し、「福祉のまち水戸」の実現を目指す、水戸市社会福祉大会を開催しました。顕彰の部では、地域福祉の推進にご尽力された方や福祉活動に励まれた方など、個人114名と5団体へ、表彰状、感謝状、褒状を贈呈いたしました。

また、講演の部では、社会人落語家・行政書士の生島清身様に「落語で終活・相続・成年後見・エンディングノートを楽しく学ぶ」と題して、講演いただきました。参加された皆さまからは、「創作落語がとても面白くて、遺言や終活について笑って学ぶことができました」「改めて家族のことや自分の人生について考える機会となり、参加して良かったです」「終活についてなんとなく考えていたが、学ぶ機会がなかったので、大変参考になりました」などの感想をいただきました。

やぐら広場では水戸市内の障害者就労支援施設で製作した物品の共同販売会が同時開催され、たくさんの方にお買い求めいただきました。

水戸市社会福祉協議会は、顕彰された方々をはじめとした福祉向上のためにご尽力されている皆さんとともに、地域の中で支えあう地域づくりの取り組みを、今後なお一層進めてまいります。



一顕彰受賞者のご紹介ー（敬称略）

表彰状

○多年にわたり民生委員・児童委員・主任児童委員として地域福祉の推進に貢献(70名)

中田愛子 三浦トモ子 岩間賢太郎 星由香子 鵜殿俊一 小林廣 大沼かつ江 小瀧みさ子
齋藤友子 田中一夫 海野美登里 小林八重子 石井けい子 打越高一 草柳茂春 丸山崇子
井上稔 木村多美子 市毛正道 後藤知道 三浦伸公 栗原千恵子 村田博 栗橋保隆 西川純子
鈴木幸子 野原繁 安邦弘 佐々木修一 岩間幸一 羽深恵美 野沢晴夫 堀江寛嗣 瀧ヶ崎正彦
石澤康司 新島洋 笹沼はるみ 川和清二 塙勲 郡司千恵子 渡野邊正美 富田恵美子 信木節子
會沢恵美子 綿引靜夫 三塚富子 寺門たまよ 篠原恵子 市川令子 藤野寿江 佐藤光子 櫻井恵子
和田圭子 友部一男 関成一 長谷川恒 住谷文男 馬籠宗隆 天下井治男 桑名美治子 大津里子
平澤百合子 菊池清志 小高英男 大和田保 柳林悟 小松崎和子 竹垣敏子 藤枝みち 山田孝雄

○多年にわたり社会福祉団体役員として会の運営発展に貢献(5名)

石川智恵子 鈴木順子 飯田孝男 大曾根紀雄 三宅正春

○自立した生活が他の模範と認められる障害手帳保持者(4名)

磯上大貴 武田展堯 鈴木大雅 関和子

○多年にわたりボランティア活動を通して地域福祉の推進に貢献(1団体・2名)

園芸ボランティア「花hana」 萩野行廣 藤田絹代

○多年にわたり社協関係役員等として会の運営及び地域福祉の推進に貢献(21名)

岡田澄子 市毛正道 栗橋保隆 大津一信 鵜殿俊一 小峯幹夫 木村多美子 西川純子 塙京子
會沢恵美子 川内雄宏 緑川博子 潮田裕子 大嶋二三雄 谷津米壽 新島洋 笹沼はるみ
小林廣 青木和子 大場茂子 山田貞子

○心配ごと相談員として地域福祉の推進に貢献(5名)

細田武志 天谷久 草柳茂春 川名浩子 園部陽子

感謝状

○社協、福祉施設・団体に協力共助し社会福祉の増進に貢献(4団体・6名)※内1名は活動内容が複数

公益社団法人水戸法人会女性部会 水戸遊技場組合 真如苑水戸支部

公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団

檍崎ひろ子 坪井春江 栗原裕忠 渡辺智恵子 渡邊忠 佐々木修一

褒 状

○ねたきり・認知症高齢者、障害者(児)の介護者(1名)

渡邊美津子



福寿のつどい ~出会い ふれあい ささえあい 感謝とともに~

市内34の社協支部では、9月から11月にかけ「福寿のつどい」を開催しました。この事業は令和4年度より「敬老会」の後継事業として始まり、4年目の開催となりました。各地区工夫をこらした催し物が行われ、参加された皆さんのがんばりや素敵なお笑顔をたくさん見ることができました。来年度も各地区で開催されますので、対象の方は、ぜひご参加ください。

福寿のつどい対象者

4月1日時点で水戸市に住民登録があり、該当年度に満75歳、80歳、85歳、90歳以上になる方
(学校教育法に定める同一学年単位)

鯉淵地区



鯉淵おはやし保存会・子ども太鼓教室の皆さまによる太鼓の披露

下大野地区



任天堂芸夢さんの落語

三の丸地区



靖秋会の皆さまによる三味線、民謡の演奏♪

緑岡地区



茨城県警察音楽隊の皆さまによる演奏 & 寸劇

城東ふれあいサロン ～in 城東小学校～

9月11日(木)に城東小学校で「城東ふれあいサロン」が開催されました。同サロンは、平成27年に誕生。高齢者の集いの場を提供することで健康寿命を延ばし、いきいきと生活が出来る場を提供しようとはじめられ、月に1度開催されています。今回はその想いにピッタリのイベントで、毎月サロンに参加しているお二人の長寿をみんなでお祝いしました！！他にも城東小3年生の合唱や演奏、ゲーム、カラオケ大会等、盛りだくさんの内容で、参加された皆さまはとても楽しまれた様子でした。

城東ふれあいサロン情報

毎月第3木曜日に開催 参加費 1回100円
問合せ先 水戸市社会福祉協議会
地域福祉課 地域福祉推進係
TEL 029-309-5001

石井さんは
なんと城東小の第1回の
卒業生



今月100歳の石井さん



今月99歳の田村さん



誕生日プレゼントを受け取る
石井さんと田村さん



城東小3年生の楽器演奏♪
合唱や詩の朗読も披露してくれました♪



小学生とゲームを楽しむ石井さん
ゲーム終了後に
「楽しかった、またやりたい」と
満面の笑みを見せてくださいました



「サロンが毎月楽しみ」と話す田村さん
元気の秘訣は「毎月サロンに参加して、
みんなとお話しすることなの」
と笑顔でお話しいただきました

共同募金
受配事業

福寿のつどい・ふれあいサロンは
共同募金受配事業です



赤い羽根共同募金の助成金は、地域福祉の推進に役立っています。

みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会

令和7年8月～令和7年10月受付分(敬称略・順不同)

寄付金(社会福祉事業に)

水戸中央郵便局OB／パソボラ水戸／莊司良一／水戸シニアアンサンブル／与三郎庵／コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」／匿名4名
(令和7年度累計額 660,866円)

〈寄付金をいただきました〉



与三郎庵 様

〈物品をいただきました〉



(一社)地域防災活動支援協議会 様

〈寄付金をいただきました〉



コミュニティカラオケ福祉団体
「納豆の会」様



水戸市社協公式LINE
はじめました
友だち追加お願いします

広報紙編集委員から



多様性と自分らしく生きるということが、最近よく耳にします。具体的には、性別、年齢、国籍、障がいの有無など、違いを認め尊重する意識を持つこと。また、偏見や差別をなくすよう努めること。さらに多様な個性や能力を生かし、協力し合える社会を目指すこと。自分らしく生きるためにには、自分をよく分析、ありのままの自分を大切にする。自分の環境を変えてみる。苦手なことは他人を頼る。新しいことに挑戦してみる。しかしこれは逆に利己的、排他的な人の関係になりはしないか? 社協の「みんなのしあわせ」が少しでも市民コミュニティに役に立てればと思っています。
(宮田 礼彰 記)

編 集 水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会

発 行 社会福祉法人水戸市社会福祉協議会会

〒311-4141 水戸市赤塚1-1

(水戸市福祉ボランティア会館内)

TEL 029-309-5001

FAX 029-309-5525

URL <https://www.mito-syakyo.or.jp>

E-mail syakyo@mito-syakyo.or.jp



皆さまよりお寄せいただいたご芳志は、各種事業に活用されています。



ボランティアセンター だより

小さな芽 大きく咲かせる ボランティア

問合せ・申込み等

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-1011 FAX 029-309-1139
<https://www.mito-syakyo.or.jp>
Eメール bora@mito-syakyo.or.jp
月曜日～金曜日 9:30～16:30



あったか通信 「水戸手話を学ぶ会」

県内でも古くから活動しているサークルで、創立55年になります。
毎週火曜日の夜間に学習会、交流会を行っています。また、手話関係の行事やボランティア活動に参加しています。

会員は、福祉系、医療系、会社員などさまざまな職種の方がいて、学生もたくさんいます。中には、小学生から手話に興味があり親子で参加している方もいます。幅広い年代がいて情報交換もでき、大きな家族のようです。

学ぶ会主催で年に数回「手と手の部屋」という交流の場を開いています。
バルーンアート、コラージュ等、聞こえる人も聞こえない人も、友達や子ども、孫まで誘って楽しい時間を共有しています。

今年はデフリンピック2025が東京を拠点に開催されます。また、手話言語条例が各地で成立しています。学習会の中でも手話だけでなく聴覚障害者に関わることを知識として取り入れ、普及活動にも力を入れています。



学習の様子



手と手の部屋(バルーンアート)

mitoこどもボランティア隊です。

mitoこどもボランティア隊は、小学校3年生から6年生21名が参加して毎月1～2回の地域活動や福祉体験を通して、人との支えあいやボランティア活動の楽しさを学び、自分の周りでできることを考えられるように、メンバーそれぞれ協力しながら福祉やSDGsについての勉強をしたり、地域の皆さんと交流を深めながら楽しく活動を進めています。

今年の活動も残り少なくなってきましたが、地域の未来を担うmitoこどもボランティア隊の活動を温かく見守っていただけると幸いです。

※活動は水戸市社会福祉協議会SNS等でも発信していますのでご覧ください。



SDGsにふれてみよう



ふくし体験



ボランティア交流会

こども用布地を集めています!

使わずに眠っている
「こども用の布地」はありませんか？

○縦50cm×横50cm以上のもの ○素材：綿(厚地)、キルティング

こども関係の福祉施設にエプロンや着替え入れ用バッグ等の縫製品を届けています。ご協力をお願いします。



【問合せ先】ボランティアセンターまで